

新LRP FLOWスペシャル・リバース・ソフトウェアV1.5

私たちは、LRPフローの新しい全V1.5ファームウェアをご紹介できることに興奮しています。史上初めて、あなたのフローは、REVERSE (リバース) 機能を持つことになるでしょう。

確立されたV1.4ファームウェアへのシームレスリバース機能を統合するために、当社のエンジニアは、すべての新しいインテリジェントブレーキ/リバースv1.0のアルゴリズムを開発しました。ブレーキと後方に運転を切り替える際、ファームウェアのこの個別部分が直感的ドライビングの経験を保証します。

もちろん、私たちはそこにとどまっていません。さらに私たちは、classspecificファームウェアの開発中に得られた経験を利用して、完全自動保護システムを追加し、モード設定を改善しました。

これは、すべてのフローユーザー、レースに野心を持つ、レーシングトラックから離れて、より便利な方法でフローを使用したい、それらの人のための刺激的なアップグレードとなります。

新しいV1.5ファームウェアは、クラスに関係なく、オントラックやオフトラック最大の楽しみを提供します。とはいえ、あなたが好ましいクラスに本当に出場したい場合は、私たちはクラス固有のファームウェアをお勧めします。

お気軽にwww.lrp.cc.でそれらをダウンロードしてください!



ファームウェア: v1.5

製品吊: フローコンペティション
フローワークスチーム

説明: スペシャルリバースソフトウェア

品番: 80960 80970

主な改良点

- REVERSE機能
- 最適化されたモード値
- 最適化された出荷時設定
- 自動保護システム

SPECIAL REVERSEソフトウェアV1.5機能の追加説明

モード1	モード2	モード3	モード4
<p>オートブレーキ (または「ドラッグブレーキ」):</p> <p>ラジオでスロットルポジションがニュートラル時、適用ブレーキパワーの割合を定義。</p> <p>推奨設定:</p> <p>モディファイクラス: 1-3</p> <p>他のクラス: 3-5</p> <p>ご注意: 高い初期駆動設定は、大幅にモーター温度を上昇させます。高い初期駆動設定を実行している場合は、モーター温度保護は常にアクティブでなければなりません! 常に正しい初期駆動値を調整するために、モーター温度を監視してください!</p>	<p>初期駆動 (V1.5 ->新しい値、新しい出荷時設定):</p> <p>初期スロットルパワーの割合を定義</p> <p>これは、スムーズなスロットルやアグレッシブな加速の調整をすることができます。</p> <p>推奨設定:</p> <p>モディファイクラス: 1-3</p> <p>他のクラス: 3-5</p> <p>ご注意: 高い初期駆動設定は、大幅にモーター温度を上昇させます。高い初期駆動設定を実行している場合は、モーター温度保護は常にアクティブでなければなりません! 常に正しい初期駆動値を調整するために、モーター温度を監視してください!</p>	<p>リバース (V1.5を->新機能):</p> <p>リバース走行したい場合、この機能を有効にします。</p> <p>これはトラックから離れてドライブ時の大きな特徴ですが、トレーニングセッションにおいて有用となり得ます。</p> <p>ご注意: リバースは、ほとんどのレースイベントで許可されていません。</p>	<p>トルクタイミング:</p> <p>この機能は、特にX12 / X20 / X20SS / K7モーター用に設計されています。トルクタイミングの使用が、低いパワーバンドの効率を高め、改善することで、スムーズな操作とモーター冷却走行を実現します。</p> <p>推奨設定: 2-4</p> <p>他ブランドのモーターには、0°トルクタイミングを使用することをお勧めします。</p> <p>注: フーストゼロクラスにはトルクタイミング0が選択されている必要があります。</p>
モード5	モード6	モード7	モード8
<p>ブーストタイミング (V1.5->新しい値):</p> <p>最大ブーストタイミング設定の定義。</p> <p>推奨設定:</p> <p>モディファイクラス: 1-5</p> <p>他のクラス: 5-8</p> <p>注意: ブーストタイミング使用の場合は、スピードコントローラでの電子タイミング + モーターでの機械的タイミングが、90°を超えないことを確認してください!</p> <p>注: フーストゼロクラスのためには、「ブースト0」が選択されなければなりません。「ブースト0」が選択されている場合、モード6および7は表示されません。</p> <p>より高いブーストタイミング設定が、モーター温度を大幅に上昇させます。高いブーストタイミング設定を実行している場合、モーター温度保護は常にアクティブでなければなりません! 正しいブーストタイミング値を調整するために、常にモーターの温度を監視してください!</p>	<p>ブーストランプ (V1.5->新しい値、出荷時新設定):</p> <p>あなたが選択したブーストタイミングに達するまでの速さを定義。</p> <p>高い設定がより速くブーストタイミングに達します。これがより大きなパワーと高速加速をもたらします。</p> <p>推奨設定:</p> <p>モディファイドクラス: 1-5</p> <p>他のクラス: 5-10</p> <p>注意: より高いブーストランプ設定が、モーター温度を大幅に上昇させます。高いランプ設定を実行している場合、モーター温度保護は常にアクティブでなければなりません! 正しいブーストランプ値を調整するために、常にモーター温度を監視してください!</p>	<p>ターボブースト:</p> <p>利用可能な最大パワーに達するまでのブーストタイミング以降に追加のタイミングを定義します。</p> <p>この設定はフルスロットルが適応された場合にのみ達成されます。</p> <p>ご注意: 低すぎるブーストアングルとの組み合わせで、ブーストタイミングの設定が高すぎる場合、ターボの動きが遅くなりすぎる場合があります。</p>	<p>保護 (v1.5->新機能):</p> <p>ESCとモーターの保護レベルを定義します。</p> <p>バッテリー保護は常にアクティブです。</p> <p>注意: 大方のストックモーターは、動作遂行のために設計されているよりも、もっとパワーを得たいという願望から非常に熱くなりがちです。モーター温度シャットダウンが、レース終了間近におこる場合に備えて、モーター温度保護をオフにすることを検討してください。その場合、モーターがオーバーヒートし、保証が失われる可能性があることに注意してください。したがってモーター保護の利用を強くお勧めします!</p>

新LRP FLOWスペシャル・リバース・ソフトウェアV1.5

モード	1	2	3	4	5	6	7	8
赤LED								
青LED								
黄LED			高速					
緑LED	オートブレーキ	イニシャルドライブ	リバース	トルクタイミング	ブーストタイミング	ブーストランプ	ブースターポ	保護
	[%]	[%]	[-]	[°]	[°]	[°/10k]	[°]	[-]
0	0	1	使用禁止	0	0		0	モーターおよびESC
1	3	3	使用可能	5	4	2	5	ESCのみ
2	6	5		10	8	4	7	
3	9	7		15	12	6	10	
4	12	9		20	16	8	12	
5	15	12		25	20	10	15	
6	20				25	15		
7	25				30	20		
8	30				35	25		
9	35				40	30		
10	40				45	35		

白	出荷時設定
---	-------

グレー	モード5の値が0に設定されている場合は、モード6および7は表示されません。
-----	---------------------------------------

「プログラミング・モード」の取得方法

MODE(モード) ボタンを最低3秒間押します。

- ・保存された設定を確認する方法→緑色SET-LEDの点滅回数を数える。
- ・設定を変更する方法→SET(セット) ボタンを押して、1ステップで設定を増やします。
- ・次のモードの入手方法→MODE(モード) ボタンを一回押します。
- ・プログラミング・モードを終了するには→最後のモードに達している場合、MODE(モード) ボタンをもう一度押します。これはまた、あなたの設定を保存します。

ソフトウェア更新後は、出荷時の設定に速度制御をリセットしてください。各ソフトウェアの更新後は、これを必ず行ってください！受信機のスイッチを入れてからSETボタンを押し、速度制御のスイッチを入れている間SETボタンを押したままにします。これで速度制御が出荷時設定に設定されます。

速度制御の送信機へのキャリプレートは、各ソフトウェアの更新後に必ず行ってください！

速度制御をバッテリーに接続し、スイッチを入れます。SETボタンを最低3秒間押したままにします。

- ・青色LEDが点滅。ニュートラル位置にトランスミッタを残しSETボタンを押します。→ニュートラルが保存されます。
- ・黄色LEDが点滅。トランスミッタ上にフルスロットルを保持しSETボタンを押します。→フルスロットルが保存されます。
- ・赤色LEDが点滅。トランスミッタ上にフルブレーキを保持しSETボタンを押します。→フルブレーキが保存されます。

最高温度の読出し方法：

速度制御のスイッチを入れている間、MODEボタンを押したままにします。それからボタンを離します。

ESC温度の読出しのために、「シャットダウンまでのESC温度」を示す緑色LEDのゆっくりした点滅を数えます。

ゆっくり点滅の緑色LED	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
温度°C	> -54°C	-48°C	-42°C	-36°C	-30°C	-24°C	-18°C	-12°C	-6°C	シャットダウン
温度°F	> -97°F	-86°F	-76°F	-65°F	-54°F	-43°F	-32°F	-22°F	-11°F	シャットダウン

モーター温度の読出しのために、再びMODEボタンを押して、「シャットダウンまでのモーター温度」を示す緑色LEDの点滅を数えます。

速い点滅の緑色LED	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
温度°C	> -45°C	-40°C	-35°C	-30°C	-25°C	-20°C	-15°C	-10°C	-5°C	シャットダウン
温度°F	> -81°F	-72°F	-63°F	-54°F	-45°F	-36°F	-27°F	-18°F	-9°F	シャットダウン